



受け入れ可能な介護度：自立・要支援・要介護概ね2まで

・基本的に在宅生活が可能の方は全て利用可能です。

1. 日常的に治療が必要ない方。
2. 心身の状態が著しく不安定でない方。（ただし、服薬管理等を行い集団生活が可能であると判断される場合はこの限りではありません。）

看護体制：看護師は日中対応、夜間はオンコール体制。

介護体制：2.5：1の手厚い介護体制、介護士の喀痰吸引研修済

項目	病名・処置内容	要介護者	備考
感染症	MRSA	○	*保菌者・鼻腔のみ可
	疥癬	×	*完治証明要す
	B型・C型肝炎	○	
	梅毒	○	
	HIV	×	
	結核	○	*治療中の方は不可、陳旧性は可
処置	胃ろう	○	
	経鼻経管栄養	×	
	バルン	○	
	ストマ（人工肛門）	×	
	中心静脈栄養法（IVH）	×	
	気管切開	×	
	喀痰吸引	○	*介護士研修済
	褥瘡（床ずれ）	○	*褥瘡状態により治療が必要な場合は要相談
	ペースメーカー	○	
	在宅酸素	○	
糖尿病	食事管理のみ	○	*食事箋に対応したお食事を提供致します
	内服管理	○	
	インシュリン	○	
透析	透析（腹膜透析不可）	○	
認知症	認知症	○	
視力障害	全盲	×	
聴力障害	失聴	×	

## 特定疾病

がん【がん末期含む】	○	脊柱管狭窄症	○
関節リウマチ	○	早老症	○
筋萎縮性側索硬化症	×	多系統萎縮症	○
後縦靭帯骨化症	○	糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症 及び糖尿病性網膜症	○
初老期における認知症	○	脳血管疾患	○
進行性核上性麻痺	要相談	閉塞性動脈硬化症	○
大脳皮質基底変性症及びパーキンソン病 【パーキンソン病関連疾患】	○	慢性閉塞性肺疾患	○
脊髄小脳変性症	○		